

No.79

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会

奈良市議会だより



〒630-8580
奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

議会だよりは年4回(2月、5月、8月、11月)の発行予定です。



夏本番! はじける笑顔(飛鳥幼稚園)

6月定例会

議長に岡本志郎氏を 副議長に池田慎久氏

本市議会は、平成16年6月定例会を6月14日から25日までの12日間の会期で開きました。この定例会では、議長、副議長の選挙を行い、議長に岡本志郎氏、副議長に池田慎久氏を選出しました。また、常任委員会の委員の選任などを行いました。このほか、市長提出の報告16件、議案20件、議員提出の議案1件と意見書1件をいずれも原案どおり可決しました。また、一部議員から提出の乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正については否決しました。

就任のあいさつ



議長 岡本志郎



副議長 池田慎久

市民の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、市議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、私ども、このたびの6月定例会におきまして、奈良市議会議長及び副議長に就任いたしました。

もとより微力ではございますが、地方自治の進展と住民福祉の向上のため、専心努力を重ねる決意でございます。

特に、今年度は、月ヶ瀬村・都祁村との合併問題や市立病院の開設等、奈良市にとりまして節目の年度になると考えております。

しかし、本市の財政状況は依然として厳しく、事業の見直しを行い、限られた財源をいかに住民福祉のために有効活用できるかが大きな課題となっております。

市議会といたしましても、民意が反映された市政の推進に向け、議決機関として、市民の皆様への負託にこたえ、千三百年の歴史を誇る奈良市のさらなる飛躍、発展を目指し、その使命を果たしてまいりたいと思っておりますので、なお一層のご指導、ご支援をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

財政

三位一体の改革
財政健全化と対応は

問 骨太の方針第4弾で示された三位一体の改革の要旨は、3兆円規模の税源移譲とその前提として、地方自治体に補助金改革の具体案をまとめるよう要請。これを踏まえ、検討となっている。財政健全化と併せ市の対応は。

答 具体案作成に当たっては、国から全国市長会等の地方6団体に対して取りまとめの要請がされているが、平成16年度実施された改革の内容は、1兆円の補助金削減に対して、移譲された税源は、実質4500億円に過ぎず、地方負担が大きくなり満足な市民サービスが難しく、市の財

政健全化にとつても、かなり厳しい。このような状況に対し、三位一体改革の原点に立ち、税源移譲が確実に実現されるよう、市長会や中核市の連絡協議会、地元選出の国会議員等々にも、強く働きかけていきたい。

行政姿勢

公の施設の運営や管理
包括的な条例の制定は

問 公の施設について、民間事業者も管理者となれる指

質問と答
本会議

弁 国の三位一体改革の影響
行財政改革の推進など論議

6月17日、18日の本会議では、12人の議員(うち代表質問5人)が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、国の三位一体の改革が地方財政に与える影響や入札制度、環境、福祉、教育などについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

定管理者制度ができたが、施設の目的に合った管理や職員の雇用問題、施設運営への住民のチェック、個人情報保護等が問題となる。これらを保障する包括的な、住民のサービス低下や利用料の負担増にならない運営や管理に関する条例を制定する考えはないか。

答 現行は、通則的な条例は制定せず、個別の施設条例の中で規定している。ご質問の条例については、他都市の状況等を見ながら研究していきたい。

世界遺産に駅舎の設置は
遷都1300年記念事業で

問 遷都1300年記念事業の計画が発表され、世界遺産の平城宮跡が会場として利用されるが、世界遺産平城宮跡に仮駅舎を設置しようとしているのか。

答 平城京の時代より連続と栄え続けてきたこの奈良を

さらに遷都1300年を迎えて大きく飛躍発展させようという考え方のもとで、県が主体となり、2010年委員会を設けて事業の展開を図っているとしているものである。平城宮跡に近鉄線の仮駅舎をつくることは利便性が高まるものであると思っているが、その話はまだ具体的には出ていないのが現在の状況である。

入札制度の見直しと
業者の育成は

問 市は、平成14年11月に、制限付き一般競争入札を導入したが、中小業者が混乱に陥っている。これまで業者育成も掲げて入札制度を運用してきたが、入札におけるこの観点、どうなっているのか。

答 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律並びに入札談合等関与行為の排除及び防止に関する法律を受け、新しい入札制度を取り入れてきた。

業者の育成については、市にとつても重要な課題であると思っている。

今後、入札制度については、透明性、競争性、公正性を高



汚泥と給食の生ごみで作られたたれ「畑楽」

めるために、より一層の検討を加えて、慎重に進めながら業者の健全育成にも努めなければならないと思っている。

環境

汚泥堆肥化設備
日30〜50袋を生産

問 平成15年3月末に汚泥再生処理施設が完成し、付設された汚泥堆肥化設備で、汚泥と給食の生ごみから堆肥が作られ、肥料名「畑楽」として、ごみゼロの日・ならりサイクルフェスタで試験的に希望者に配布された。

今後、施設が本格稼働すると毎日どれくらいの堆肥がで

き、どのように配布されるのか。

答 この施設の堆肥化能力は一日あたり5トンであり、現在、し尿・浄化槽から発生する汚泥4.9トンと施設近隣小学校、保育園の給食残飯、0.1トンを合わせて発酵させ、15キログラム入りの袋で、一日あたり30から50袋の堆肥

ができる。これを、保育園、公園、公共施設に提供している。

環境清美工場の
危機管理マニュアル

問 環境清美工場には、事故を未然に防止し、また、事故が発生した場合を想定した危機管理システムの構築が必要と考えるが、危機管理マニュアルは作成しているのか。

答 平成3年に従来の防火

管理業務について必要な事項を定めた消防計画の見直しを図り、事故を未然に防止するための、適正かつ安全な作業手順を定めた安全作業マニュアルを作成した。加えて、破砕機に爆発防止装置を設置するなど、設備面においても改善を図ってきた。

事故発生時の未然防止や発生した事故の速やかな処理など、危機管理マニュアルとして実効あるものとなるよう、見直しも含め再点検をしていきたい。

福祉

乳幼児の医療費助成
就学前まで拡充は

問 少子化対策の一環として、乳幼児の医療費助成制度を拡充する運動が全国で取り進み、せめて就学前まで制度を拡充すべき時期に来ているのではないかと。

答 県の制度で、3歳未満となっている。今後も、県に年齢の引き上げについて要望

する。また、年齢を1歳引き上げると市の費用負担は約1億円必要となる。それだけの大きな負担額を6歳未満までできるか財政状況から考えなければいけないが、乳幼児の健全育成あるいは少子化の問題等から、この制度の拡充も政策の一つのあり方ではないかと思っている。

2議員に表彰状
全国市議会議長会

5月25日、東京で開かれた第80回全国市議会議長会定期総会で、次の2人が表彰を受けました。

- 議員25年以上特別表彰 松石 理一議員
- 議員15年以上表彰 原田 栄子議員

市立病院

市立奈良病院の政策医療は

問 国立奈良病院が、平成16年12月に、市立奈良病院へ移行するにあたり、地域の中核医療機関としてのサービス等を示していく時期に来ていると思うが、政策医療についてどのようなものか。

答 救急医療については、救急告示病院の指定を受けるとともに、病院群輪番制に参加し、救急二次病院の役割を



事前整備で拡充された救急診療室

果たし、また、小児救急についても小児科病院輪番制に参加することとしている。当面、小児科病院輪番制を拡充していきたいと思っている。

また、救急医療の充実を図るため国が実施する事前整備において、現在の一室のみの救急室を救急患者を搬入する際の処置室を設け、診療室を3室に拡充している。

人権

性同一性障がい者への対応と窓口職員研修

問 多くの性同一性障がい者は、日常生活の中で差別・偏見に苦しんでいる。人権を守るためにも、まず、市職員の研修、特に窓口職員の対応についての研修に取り組むべきと思うが。

答 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律が、平成16年7月16日から施行される。性同一性障がいは、社会的差別など人権にかかわる大きな問題である。行政に携わる者にとっては、十分な認識を得るとともに、適切な対応が求められるものと考えている。

今後、性同一性障がいの人権学習の一環に位置づけ、職員研修を実施していきたい。

教育

強化磁器食器移行への代替食器導入の進捗は

問 学校給食食器は、最終的には強化磁器食器にするべきである。

市学校給食食器検討委員会で、代替食器の選定をしているが、その進捗状況は。

答 市学校給食食器検討委員会では、安全性を第一と考え、使い勝手や取り扱い上の問題点など代替食器の選定作業を、昨年度から精力的に検討している。

今後は、他都市の使用状況等を参考にしながら、学校給食に安心して使用できる食器について結論を得たいと考えている。その検討結果を受けてアルマイト食器・ポリカーボネイト食器を速やかに代替食器に更新するよう計画をしていきたい。

都市農村子ども交流事業

その後の進捗は

問 豊かな自然のもと親元を離れ子どもたちが寝食を共にし、自然体験・環境体験・勤労体験等しながら生活する都市農村子ども交流事業の実施について、協議の場を設け検討されると聞いているが、その後の進捗は。

答 平成13年度から教育委員会内での研究を進めるとともに地元との調整を重ねてきたが、今回「レッツ、ふれあい体験」と名づけ実施する。16年7月に市野外活動センターで自然体験、8月下旬に徳島での海洋体験を予定し、都市部の子どもと東部地域の子どもがこの活動を通して多くの友だちをつくることにも協力することのすばらしさや大切さを学び、自分たちのまちの良さを再確認することができると考えている。

防災

防災対策の推進に情報連絡の訓練は

問 防災対策を推進していく上で情報連絡体制を常に備えておくことも重要であると考えるが、情報連絡体制に伴う訓練についての必要性和考え方は。



公用車に設置されている防災無線

答 市防災行政無線に関しては無線線を設置している市内の関係課や出張所、連絡所及び公用車等との訓練を実施しているが、災害時には市役所内だけでなく、ライフラインも含んだ他の防災関係機関と迅速かつ的確な災害関係情報の収集及び伝達が大変重要であると認識している。

また、県防災行政無線や電話等を活用し、関係機関との情報連絡訓練の実施について協議を進めていきたい。

人事案件

▽監査委員
議員のうちから選任する

監査委員に吉田文彦氏の選任に同意
また、任期満了に伴う吉田肇氏の再任に同意

意見書

今定例会で可決し、政府等に提出した意見書は次のとおりです。

▽地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書

その他の主な質問事項

- 保健福祉行政の取り組み
- 文化施設
- 教育への展望・施策
- 生涯教育
- 財政指数
- 学校園活性化対策推進事業
- 学校教育活動支援事業
- 住宅新築資金等貸付事業
- 男女共同参画社会
- 児童・生徒の運動能力向上
- 左きき児童・生徒の対応
- 西ノ京周辺整備
- 合併後の将来展望・構想
- 文化芸術振興条例
- 第3次総合計画
- 行政評価システム
- 情報セキュリティ対策
- 東南海・南海地震対策
- 次世代育成支援対策
- 環境清美行政
- ビジット・ジャパン・キャンペーン
- まちづくり行政
- インターネットと子どもたちのかかわり方
- 行財政改革大綱基本方針
- 市民憩いの森整備計画
- 温泉計画
- 憲法、教育基本法の改正
- 有事関連7法案制定
- 新市建設計画
- 生活保護高齢加算・夏季見舞金の削減
- 合併に市民の意思
- 耐震診断、耐震改修の実施状況
- 個人住宅の耐震診断助成
- 土地開発公社保有土地の買戻し
- 富雄北小学校の校区問題
- 京奈和自動車道大和北道路の計画案
- 女性職員の管理職登用
- 男女共同参画推進審議会委員の公募
- 市庁舎内に授乳室設置
- 入札審査会の会議録の公開
- 地方主権時代への体制づくり
- 市民参加のまちづくり
- 遷都1300年への取り組み
- 長寿健康社会への取り組み
- 奈良きたまち振興
- 学校安全対策
- 子ども居場所づくり
- 総合型地域スポーツクラブの取り組み
- 学校カウンセラー
- 市立奈良病院の運営
- 市立奈良病院の小児科構想
- 近鉄西大寺駅周辺整備
- 違反広告物除却体制と今後の対応

環境防災委員会



奥田正治
副委員長
編集会員
（政 青 会）



大橋雪子
副委員長
合併問題検討特別委員
（公明党市議会議員団）



山口裕司
委員長
（日本共産党市議会議員団幹事長）



幾田邦夫
編集会員
（政 青 会幹事長）



山中益敏
市議会情報公開審査会委員
（公明党市議会議員団）



三浦教次
副委員長
合併問題検討特別委員
（政 青 会）



吉田文彦
編集会員
（政 交 会）



松村和夫
市議会情報公開審査会委員
（民 政 会）



山口誠
副委員長
（民 政 会）

産業文教委員会



大坪宏通
編集会員
（政 交 会）



佐藤 亨
副委員長
（無 属）



上原 長
副委員長
市議会情報公開審査会委員
（政 交 会）



高杉美根子
副委員長
合併問題検討特別委員
（公明党市議会議員団）



森田 一
副委員長
市議会情報公開審査会委員
（政 交 会）



内藤智司
副委員長
（民 政 会）



橋本和信
市議会情報公開審査会委員
（民 政 会）



小林照代
合併問題検討特別委員
（日本共産党市議会議員団）



中村篤子
合併問題検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
（日本共産党市議会議員団）

新しい 議会の構成

()内は所属党派名

総務水道委員会



北村拓哉
副委員長
市議会情報公開審査会委員
（日本共産党市議会議員団）



船越義治
委員長
市議会情報公開審査会委員
（公明党市議会議員団）



矢追勇夫
市議会情報公開審査会委員
（交 政 会幹事長）



池田慎久
副委員長
（民 政 会）



山本清
合併問題検討特別委員
（政 交 会）



堀田征男
市議会情報公開審査会委員
（民 政 会）



岡本志郎
副委員長
（公明党市議会議員団）



横井健二
副委員長
（民 政 会）

建設委員会



浅川 仁
政 交 会幹事長



中西吾日出
副委員長
市議会情報公開審査会委員
（民 政 会）



藤本孝幸
副委員長
合併問題検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
（民 政 会）



峠 宏明
合併問題検討特別委員
（政 交 会）



大國正博
市議会情報公開審査会委員
（公明党市議会議員団）



矢野兵治
副委員長
（民 政 会）



原田栄子
副委員長
（日本共産党市議会議員団）



松石聖一
合併問題検討特別委員
（無 属）



金野秀一
副委員長
（公明党市議会議員団幹事長）

厚生委員会



榎木秀
副委員長
合併問題検討特別委員
（政 交 会）



岡田代子
副委員長
（無 属）



土田敏朗
副委員長
合併問題検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
（民 政 会）



和田晴夫
合併問題検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
（民 政 会）



松田末作
市議会情報公開審査会委員
（政 交 会）



井上昌弘
副委員長
市議会情報公開審査会委員
（日本共産党市議会議員団）



大谷 督
（無 属）



米澤 保
（政 交 会）



高橋克己
副委員長
合併問題検討特別委員
（公明党市議会議員団）